

徳之島報 とくノ島のしま

2009
1月号
417

編集・発行 徳之島町役場 企画課 〒891 7192鹿児島県大島郡徳之島町亀津7203
TEL (0997) 82 1111(代) FAX (0997) 82 1101
ホームページアドレス <http://www.tokunoshima-town.org/>



1月5日、町文化会館において「平成21年成人式」が行われ、179人の新成人が出席してお祝いしました。

ことわざ
今月の一言 (井之川のテーキ話より)

うや うん
親ぬ恩や

くわ かい
子ね返せ

「親から受けた恩は子どもにかえしなさい」という意味。

今月の主な内容

町長新年あいさつ	P 2 ~ P 3
まちの話題	P 4 ~ P 6
教育委員会だより	P 7
徳之島の昆虫シリーズNo31	P 8
議会だより	P 9 ~ P 16
戸籍の窓・徳之島の偉人紹介	P 17
わが家のアイドル	P 18

平成21年 新年のあいさつ



高岡 秀規町長

新年あけましておめでとござい
ます。

輝かしい新年を迎えられ、町民の
皆様、出身者の皆様には、ますます
ご健勝にてお過ごしのこととお慶び
申し上げます。

一昨年7月に町長に就任して1年
6ヶ月が経ちました。町民の皆様は
日頃より町勢発展の為、ご協力を
賜り厚く感謝申し上げます。とくに
本年度は町制施行50周年記念の佳節
の年で、昨年4月より様々な記念行
事を開催してまいりました。町民の
皆様はじめ、町出身者の皆様には多
大なるご協力を頂き心より御礼申し
上げます。その中で役場職員や地域

の皆様の持てる潜在能力の凄さに驚
き、改めて地域力の高さを実感して
いる次第であります。そして、次の
50年を目指し力強い出発ができたも
のと確信いたします。本年3月まで
記念行事は続きますが、ご協力をよ
ろしくお願い致します。

また、佳節の年にあたり事業運営
の為の寄附金を募りましたところ、
たくさんの方の真心のご寄附を頂き、重
ねて衷心より深く御礼申し上げます。

町長就任以来すすめて参りました
住民参加のまちづくりの実現 複
合農業の確立 農産物加工品の研究
開発等の施策も着実に進めておりま
す。ヘルシーブランド事業も順調に
軌道にのり、今後、新加工センター
の建設計画に伴い加工品開発と同時
に農産物（青果等）の島外への販売
促進ルートの開拓に力を入れていき
たいと思います。また、福祉分野の
雇用促進を図るため、地域にあった
施策を取り入れ着実に推進して参

ります。行政改革は課の統廃合を新
年度より実施する計画です。滞納問
題は毎年着実に徴収率が上がってお
り、そのほかの問題にも職員一丸と
なつて取り組んでおります。

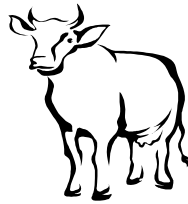
近年話題になっております奄美の
世界自然遺産登録へ向けては、沖繩
を含めて住民意識の向上と、環境問
題への実質的な取り組みが大切では
ないかと考えます。町としても昨年
より実施された、毎月第3日曜日の
ボランティア清掃は各地区で着実に
定着してきております。また、海の
玄関口である龜徳新港近くのグリー
ンベルト地帯に亜熱帯植物の記念植
樹も行われ、町内全域がゴミのない
きれいな町へと変わりつつありま
す。これもひとえに町民の皆様のボ
ランティアのお陰であり、心より感
謝申し上げます。

現在、今年度で切れる奄振法の延
長に伴う次期計画を総合調査報告書
の内容を踏まえ、農業・観光・情報
の3分野を柱に町としても様々な計
画を取り入れて策定中であります。
さて、昨年も一昨年に続いて台風
の襲来もなく天候に恵まれ、三町の

サトウキビ生産高も10年ぶりの大豊
作で25万トン近くになりそうな勢い
です。島の基幹産業であるサトウキ
ビが良ければ町も活気があり人も元
気です。今後のWTOの動向にも注
目しつつ、政府に強く要請して行き
たいと考えます。今年も2月から3
月にかけて徳之島スポーツアイラン
ド推進協会の事業のひとつであるス
ポーツ強化合宿に、群馬県の上武大
学野球部や富士通陸上部・ホクレン
女子陸上部が入り、町の活性化と青
少年教育に一役かうことが期待され
ます。また、野球の日本ハムファイ
ターズ・ソフトバンクホークスの選
手も入る予定であります。

本年3月末には自衛隊ヘリコプタ
ー殉職者の慰霊碑建立と除幕式、事
故現場までの登山道と鎮魂碑の完成
式、三回忌慰霊祭を実施する予定で
す。ぜひ関係者を含め多くの皆様が
ご出席下さいますようお願い致しま
す。
新年を迎えるにあたり、初心に立
ち返り「健康で明るく住みよい豊か
な町づくり」の基本理念のもと、本
町の特性を生かした産業の振興と、

人と自然が共生し心豊かで住みよい町づくりを皆様と一体となつて進めていく決意であります。時代はますます混迷の度を増し厳しい時代ではあります。この時こそ希望をもつて乗り越えていきたいものです。そして本年が皆様方にとりまして「幸多き年」になりますように「祈念いたします」して新年の挨拶といたします。



奄美群島振興開発基金からのお知らせ

奄美基金は、奄美群島の産業振興を図るため、融資業務・保証業務により事業者の方々への事業資金の円滑な供給に努めています。

奄美基金の主な融資制度のご案内

貸付対象事業	資金使途	貸付の限度額	貸付期間	貸付利率
農業 (サトウキビ、畜産、果樹、野菜、花き、園芸等)	設備資金	個人 1000万円 法人 1500万円	5~ 15年	1.85%
林業 (樹苗、椎茸、木材生産加工)	設備資金	個人 500万円 法人 800万円	5年	1.70~ 1.85%
水産業 (漁船取得、改造、装備購入、養殖施設整備、共同利用施設等)	設備資金	個人 2000万円 法人 4000万円	5~ 10年	1.85~ 2.35%
農業・林業・水産業 (飼料・肥料・種苗購入、買掛金支払等事業に必要な資金)	設備資金	個人・法人 4800万円	7年	2.50%
農林水産物の流通加工業 (流通・加工に必要な設備及び事業に必要な資金)	設備資金	個人・法人 4800万円	設備 10年 運転 7年	設備 1.85~ 2.85% 運転 2.50~ 3.50%
奄美の特産品製造・販売業 (大島紬、黒糖焼酎、黒糖、その他奄美の特産品、地域資源を活用した産業に必要な資金)	設備資金	個人・法人 7000万円	設備 10~ 15年 運転 7年	設備 1.85~ 3.05% 運転 2.50~ 3.50%
観光業 (民宿、ホテル、遊漁船、ダイビング、観光ガイド、土産品製造等)	設備資金	個人・法人 4800万円	設備 10年 運転 7年	設備 1.85~ 2.85% 運転 2.50~ 3.50%

貸付金利は、平成 20年 12月 10日現在のものです。

貸付期間及び貸付利率は資金使途などにより異なります。

融資にあたっては所定の審査が必要となります。

保証業務は、事業者の方々が金融機関から借入れを行う際に、奄美基金が信用保証を行うことで円滑な資金供給を支援する制度です。(奄美基金、各金融機関、各商工会へお問い合わせください)

お問い合わせ先

独立行政法人 奄美群島振興開発基金 徳之島事務所

〒 891-7101 大島郡徳之島町亀津 2928- 4 TEL 0997-82-0309 FAX 0997-82-2362

HPアドレス <http://www.amamigo.jp> Eメール kikin@amamigo.jp

(Eメールからもご相談を受け付けていますので、ご利用ください。)



飲酒運転の根絶を！

12月10日、Aコープ徳之島店前において、徳之島町交通安全母の会による飲酒運転撲滅街頭キャンペーンが行われました。



チラシを配って啓発

県下の市町村で一斉に行われたキャンペーンは、お揃いの黄色のスカーフやたすきを身につけた母の会の会員たちが、「飲酒運転の根絶にご協力ください」とチラシの配布や声かけを行いました。飲酒運転に対する罰則強化等を盛り込んだ改正道路交通法が施行されて1年以上たった今も、飲酒運転は未だに後を絶たないという現状にあります。飲酒運転は絶対にしてはならないことです。飲酒運転根絶のため皆さんのご協力をお願いします。

もし裁判員になったら

12月13日、役場会議室において、裁判制度説明会 in 徳之島が行われました。



裁判員制度について学ぶ

平成21年5月21日から始まる裁判員制度について学ぼうと、会場には40人近くが参加しました。説明会では、裁判員制度をテーマとしたビデオ鑑賞に続き、鹿児島地方裁判所名瀬支部長の中島基至裁判官による裁判員制度の概要や、裁判員に選ばれる際の手順等について詳しく説明がありました。質疑応答では、社員が選ばれた際の会社側の対応や、裁判員の心的ケアについてなどの質問があり、裁判員制度に対する関心の高さがうかがえました。

第17回生涯学習推進大会

12月14日、町文化会館において、第17回徳之島町生涯学習推進大会（山地区大会）が行われました。



「生涯学習社会を広げるすこやかな町づくりはどうあればよいか」頭で学び、心で学び、体で学ぶ」をテーマに行われた大会は、開会行事に続き、山・手々地区から4人のパネリストを迎えてシンポジウムが行われました。シンポジウムでは、集落行事や島唄、野球等を通じた各地区の生涯学習に関する取り組みがスライドで発表され、地域が一体となった活動例に、多くの質問が飛び交っていました。



シンポジウムの様子（写真上）と大島紬姿で講演した宮崎緑さん（写真下）

山地域女性連によるアトラクション「チクディングワ」に続き、元ニユースキャスターで、現在は奄美パーク園長兼田中一村記念美術館長も務める宮崎緑さんを迎えて「まちも人も輝いて」と題した講演が行われました。講演では、メディアの伝える情報等を例に挙げ、「視点を交える」と様々なものが見えてくる。情報も選ぶ目が大切」などと語っていました。最後には、お楽しみ抽選会も行われ、抽選番号を片手に会場のあちろちらで一喜一憂する姿が見られました。



かわいらしい着物姿でごあいさつ

クリスマスを間近に控えた12月14日、井之川保育所と尾母保育所による合同クリスマス会が生涯学習センターにて行われました。会場にはたくさんさんの保護者や祖父母が詰めかけ、2歳児から5歳児までの保育園生約60名が、この日のために練習してきた成果をかわいらしい衣装を身にまといお遊戯や劇、合唱などで元気よく発表して、楽しいクリスマス会を過ごしました。最後にはサンタクロースも登場して、頑張った園児たち一人一人にプレゼントを手渡し、記念の写真撮影を行いました。

合同クリスマス会

学習の成果を発表



レクダンス池間教室の発表

12月14日、町文化会館において、平成20年度公民館講座学習フェアが開催されました。今年度は、31の講座に486人が受講し、362人が修了証書(うち皆勤83人)を手に入れました。閉講式では、修了生を代表して、母間の仲間治義さんが秋武教育長より修了証書を授与されました。舞台発表では、大正琴やレクダンス、島唄、カラオケなど19組が発表を行い、会場ロビーでは手芸や書道、アクリル画などの作品展示も行われました。一年間の学習の成果を見ようと会場にはたくさんさんの人が詰めかけ、終日大にぎわいでした。



寄付を手渡しす副島観光協会会長

12月15日、役場町長室において、徳之島町50周年を祝う記念Tシャツの寄付に、副島博徳之島観光協会会長が訪れました。この寄付は、徳之島町制施行50周年をお祝いするために、観光協会が企画、製作した記念Tシャツの売り上げの一部を50周年記念事業実行委員会へ寄付したものです。50周年記念のTシャツは、好評で島内外をはじめたくさんの方に買ってもらったそうです。いただいた寄付金は、50周年記念事業のために大切に使用させていただきます。ありがとうございます。

皆さんも着ましたか？

仲間たちのコンサート



亀津小なかよし仲間達によるハンドベル

12月23日、町文化会館において仲間たちのコンサート(療育研究会・徳之島ライオンズクラブ主催)が開催されました。毎年恒例となったコンサートには、島内の障害者施設や作業所、小中高の吹奏楽部や音楽部など16組が出演しました。たくさんさんの観客の中、亀津中吹奏楽部の「島人ぬ宝」の演奏を皮切りに、バンド演奏やハンドベル、吹奏楽など、いろいろなジャンルの音楽で一足早いクリスマス会を過ごしました。



おはなし隊がやってきた

本とあそぼう全国訪問おはなし隊のキャラバンカーが1月9日、町立図書館（岩下洋一館長）を訪れました。

このおはなし隊は、講談社の記念事業としてたくさんのお絵本を積んだキャラバンカーで全国を巡回しているもので、亀津カトリック幼稚園の園児をはじめ、40人が参加しました。

はじめにキャラバンカー見学や絵本を読んだ後、おはなし会が行われ、アマミノクロウサギを題材とした絵本「とんとんとん」等の読み聞かせや紙芝居がありました。

参加した園児たちは、大きなキャラバンカーや読み聞かせで楽しい時間を過ごしました。



絵本の読み聞かせ

地域に根付いた防災50年 平成21年消防団出初式

1月6日、平成21年徳之島町消防団出初式及び消防団結成50周年記念祝賀会が行われました。

朝8時に手々から亀津まで消防車5台による火災予防を呼びかけた後、亀津小学校吹奏楽部を先頭に町消防団や母間少年少女防火クラブ、女性防火クラブ員らによる亀津市中パレードが行われました。

続いて、亀津児童公園で観閲式、大瀬川で放水演習が行われ、川の両岸に配置された4台の消防車から一斉に放水が行われました。新春の空に描かれたアーチに見物に集まった人々たちから歓声が上がっていました。

また、午後に行われた祝賀会では、徳之島町消防団50周年の歩みを盛大に祝うとともに、消防団へ貢献した人へ感謝状の贈呈が行われました。

【平成21年出初式表彰者】

および感謝状受賞者

（敬称略・カッコは担当分団名）
鹿児島県消防協会総裁表彰（功績賞）
住田克幸（亀徳分団）/直和利（轟木班）/平田和徳（山分団）大保富広（亀徳分団）

鹿児島県消防協会総裁表彰（精績章）
大山喜也（本部）/崎田広光（南

区分団）/崎田保彦（中区分団）
/宮本敏吉（下久志班）/武島道司（母間分団）/前田秀雅（母間分団）/中村正仁（花徳分団）/富山邦夫（中区分団）/三原敏郎（母間分団）/藤敏也（下川分団）/東政宏（下川分団）/松雄一（下久志班）/吉村浩三（母間分団）

鹿児島県知事表彰 10年勤続章

石黒敏彦（尾母分団）/上村通（北区分団）/稲田英樹（神嶺分団）/森純助（下川分団）/是枝孝太郎（下川分団）/田袋敏行（山分団）/福旭（南区分団）/下笠泰幸（花徳分団）/保岡達郎（花徳分団）

鹿児島県消防協会大島支部長表彰

（功績章・15年表彰）
中村俊彦（花徳分団）/白松照万（中区分団）/益田国博（母間分団）/行英利（轟木分団）/佐武愷（金見班）/福山孝一（中区分団）/小倉政一（手々分団）/奥村勝男（北区分団）

【感謝状受賞者】

初代団長 永濱安雄 / 元副団長・後援会長 正田武應 / 徳之島地区消防組合消防署長 盛山秀仁 / 元団長 佐藤輝文 / 元副団長 福田



吉成 / 元団長 益田昭 / 元分団長 小村敏夫 / 元分団長 山喜雄 / 元分団長 保村輝也 / 元分団長 吉村栄 / 元分団長 島田一三 / 元分団長 寶田文良 / 元部長 嶺山文章 / 元班長 柳政則 / 元団員 轟照重 / 元団員 白濱秀弘



学力調査やテストを生かす

1月15日、16日に小学校5年生、中学校1、2年生を対象とした「基礎・基本」定着度調査が本町小学校、中学校でも行われました。これは、鹿児島県教育委員会が主催で平成16年度から実施されているものです。「読み・書き・算」等の基礎学力について、県内すべての公立小・中学校を対象に調査を実施し、県全体における定着度の状況を分析した上で、分析結果をまとめ、今後の個に応じたきめ細かな指導方法の改善・充実に資することを目的として行われています。町全体の結果については、4月ごろには、この町報を通じてお知らせできる予定にしております。



学校ではこの他にも全国的に行われる「全国学力・学習状況調査」（小6，中3対象）や標準学力検査CRT/目標基準準拠検査（全学年対象）等を行い、それぞれの子どもの学力の実態をきめ細かに把握し、それに応じた指導を行い、一人一人の子どもの学力定着に取り組んでいます。

どんな子どもでも、学力は一朝一夕に定着するものではありません。だからこそ、「どのくらい覚え身に付いているのか」、「理解できていないところはどこなのか」、「どんなところにつまずいているのか」をしっかりと把握し、それを基に教師が「できるように・分かるように」するために、要所所で子どもたちの学習状況を知る必要があるのです。各種調査やテストはそのためにも大切であり、欠かせないものです。

様々な調査がありますが、子どもたちの確かな学力を定着させるために、学校の先生方はその結果を細かく分析し、あらためて指導し直したり、次の年度の学習計画を立てたりしています。また、先生方自身の指導方法などを見直す機会にして、授業を改善する取組も行っています。

それぞれの御家庭でも、お子さんの学習状況や通っている学校の実態などに関心を寄せ、学力向上のために家庭でできる手だて（学習に集中できる環境を作る、宿題を見てあげる等）に共に取り組んでいきましょう。また、テスト等では点数だけでなく、お子さんののびやよさをおおいに賞賛してあげましょう。

「こころいきいき 笑顔あふれる井之川中」 徳之島町立井之川中学校

昨年は日本復帰記念中学校英語暗唱・弁論大会に本校男子生徒2名が出場。優秀賞と優良賞に輝き、子どもたちの大きな自信になりました。

また、地区道德教育研修会、徳之島町PTA連絡協議会研修会の発表校となり、本校教育に対して皆様から多くの示唆をいただきました。この場を借りて、改めて御礼申し上げます。

さて、井之川中学校では、新しい時代を生き抜き、切り拓く生徒を育成するために次のことを努力しています。

「基礎・基本」の定着を図り、「確かな学力」を育む、楽しく分かりやすい授業の実践。そのために教師全員が研究授業を実施し、「授業力」を身につけています。

「豊かな心」と「郷土を愛する心」を養う道德教育の充実。そのために道德の時間を大切にし、郷土のよさを生かした体験学習、ボランティア活動を実施しています。

「進取の心」と「気力」、「挑戦する心」を育てるために、「気力・体力づくり」を実施しています。

また、生徒会活動の活性化を図り、英語検定や漢字検定等へ積極的に取り組んでいます。

井之川中学校は、「夏目踊り」「棒踊り」「鍬踊り」等の郷土芸能が盛んであり、郷土を基盤とした学校づくりをしています。また、神之嶺小学校と連携を図り、小・中一貫教育を理想とした特色ある学校教育を目指します。

毎年11月に実施する文化祭では、生徒が心温まる演技を披露します。ぜひいらっしゃってください。



カミキリムシは、長い触角とかたい甲羅をもつ甲虫の仲間である。徳之島ではミカンの害虫であるトクノシマゴマダラカミキリ（昆虫シリーズ 14で紹介）が知られている。樹幹に穴をあけることからテッポウ虫とも呼ばれ、髪の毛を切断するほど大アゴの力が強い「髪切虫」となる。長い触角が牛の角に似ていることから、中国では「天牛」と書く。カミキリムシの出現期は主に早春から初秋の頃で、5月から梅雨明けの頃に最も多くの種類がみられる。花に集まる種は花粉や花蜜を、葉に集まる種は葉の主脈を食べる。枯れた樹に集まって樹皮を食べたり、樹皮の菌類を食べたりする種もいる。見つけるにはそれぞれの習性や集まりやすい樹を知っておくとよい。夜の灯りを好むものもいる。

現在、日本には750種を超えるカミキリムシが生息している。徳之島には93種のカミキリムシが見つかったが、ここ3年間で9種の未記録種を見つけ102種となった。

【マツノマダラカミキリ：体長14~27mm】

北海道以外のほぼ日本全土に分布し、体はこげ茶色をしている。弱った松の樹皮に卵を産んで、幼虫は松の幹や枝の中で育つ。6月頃に樹皮に穴を開けて成虫が出てくる。夕刻から夜間にかけて動きが活発になる。

このカミキリムシは松枯れをもたらすマツノザイセンチュウ（北アメリカからの侵入種）を媒介し、日本では森林害虫になっている。成虫は若枝の皮をかじって食べる。この時にカミキリムシ体内に寄生していたマツノザイセンチュウが松に移行し、松を枯死に招く。松を枯らさないためには運び屋であるマツノマダラカミキリを駆除する必要がある。防除には薬剤散布や枯損木の焼却が主流となる。何を優先するかは人間が決めるが、

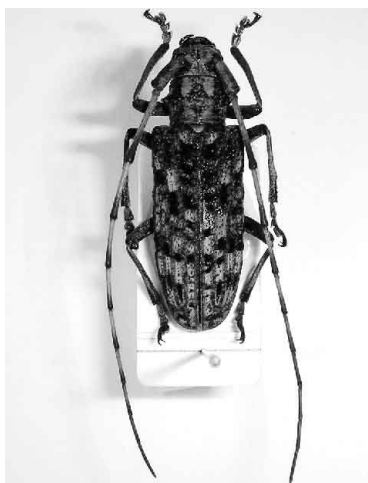
ヘリコプターによる薬剤散布を行うと、いっしょに生息している昆虫や動物の生態系に少なからず影響がでる。徳之島は食樹のマツが多いが、私が本種を確認したのは徳和瀬だけであった。今後、分布域が広がり加害木が目立ってくると防除対策が必要になるだろう。

【アマミモンキカミキリ：体長10~12mm】

奄美大島と徳之島のみ分布している。背中に4個の丸い黒色の紋があり、全体は鮮やかな黄色で、美しいカミキリムシである。幼虫はハゼを食べて育ち、6月末に成虫が出現する。島にハゼは多いが、徳之島では三京と手々のみで確認している。個体数は少ない。

背の高いハゼの生葉を好んで止まり、振動に敏感ですぐに飛び立ってしまう。谷筋から伸び、上から見下ろすようなハゼの木だと見つけやすい。ハゼは触るとかぶれることがあるので注意してほしい。

（亀徳小学校 教諭 大坪博文）



相続登記はお済みですか？

日本司法書士系連合会では、毎年2月中1ヵ月間を「相続登記はお済みですか月間」に設定し、無料相談活動を実施しています。相談は無料ですので、この機会にお気軽にご相談ください。

実施期間 平成21年2月1日から平成21年2月28日まで

相談対象 相続登記並びに相続にまつわる相談

実施方法 鹿児島県司法書士会所属の会計事務所において無料で相談を受け付けます。

主催・問い合わせ 鹿児島県司法書士会 ☎099 256 0335



徳之島の偉人紹介 ~その6~



かんむら せいえん
上村 清延 (1879年亀津生まれ、1957年没)

ドイツ文学者、大学教授、文学博士。祖先は薩摩藩の藩医。
1893年、15歳で徳之島を後にする。鹿児島一中(現在の鶴丸高校)、
一高を経て1907年、東京帝国大学文学部を卒業。
ドイツ文学研究一途に専心、一高、七高、海大(海軍大学)、浦和高校、埼玉大、駒沢大などの教授としてドイツ文学を教えた。
著書の文法教科書は「上村文法」として長く学生のバイブルとなった。

1943年にドイツ文学と東洋文学についての研究で文学博士となった。文学博士は奄美人では第1号。関東徳州会会長なども歴任。

高校時代に小山内薫ら7人の仲間と劇作研究に熱中、同人誌も発行していた。

また、源頼朝の史劇を考案、頼朝は義経に比べて政治家として卓越していたと書いた。著書に「ドイツ文学と東洋文学」都文堂出版、訳「ゲオルゲ第7輪」などがある。

(参考文献『徳之島先駆者の記録』)

確定申告は正しくお早めに！

確定申告の時期が近づいてきました。

平成20年分の所得税の確定申告期間は、平成21年2月16日(月)から平成21年3月16日(月)までとなっています。

所得税は、納税者自身が所得金額や税額を正しく計算して納税する申告納税制度を採っていますので、所得金額や税額を正しく計算し、申告と納税は、期限内にお済ませください。確定申告書の提出は、郵送等でも結構です。

申告期限が間近になりますと、申告会場は大変混雑し、長時間かかる場合もありますので、お早めに申告をお済ませください。

なお、国税庁ホームページの、「確定申告書等作成コーナー」で簡単に申告書等の作成ができますので、是非ご利用ください。(http://www.ntago.jp)

詳しいことは、最寄りの税務署にお尋ねください

大島税務署 電話0997-524321) 自動音声案内



今日から大人の仲間入り 平成21年成人式

成人の日より一足早い1月5日、町文化会館において平成21年成人式が行われました。

今年は着物や袴、スーツに身を包んだ新成人、計179人（男子79人・女子100人）が出席し、晴れの門出を祝いました。

午後2時から始まった式典では、秋武教育長が「厳しい社会の中で生きる力を大切にし、自分なりの考え方、生き方を持った真の大人になってください」と式辞を述べました。高岡町長、住田議長の祝辞、徳之島高校福岡志穂さんの送る言葉に続き、最後に新成人代表の成岡葉子さん（母間）が「私を支えてくれた多くの存在と島への感謝の気持ちを糧にこれからも頑張っていきたい」と謝辞を述べました。

引き続き行われた交流会では、バンド演奏や島唄、出身中学校別のカラオケなどで会場は大盛り上がりでした。

